

JCTまなびチャンネル 現代の国語 原研哉「美意識は資源である」

担当：山本早苗
6/10・6/17・6/24放送回

第1パート 導入部

- 日本の丁寧さや清潔さがあらわれている例
 - (1) 成田空港
 - 床のタイルはどこもピカピカ 寝転がっても汚れない？
 - 床のしみ 除去しようと最善の努力を払った痕跡
 - (2) 高速道路 街の明かり
- どれ一つとして消えていない

今回の到達目標

- なぜ筆者は日本の美意識が資源であると考えているのかを読みとる
- 論理的な文章を読み、その内容の妥当性や信頼性を吟味できる
- 文章の組み立てや接続について理解する

第1パート 導入部

- 日本の丁寧さや清潔さがあらわれている例
 - (3) 東京の夜景
 - どれ一つとして切れていない ゆるぎなく灯っている
- 信頼感
- 「世界で一番美しい夜景は東京」
 - パイロットたちも同意

本文を読む前に

- 海外に行ったことはありますか？
- そのときに、日本と比べて清潔への意識が異なると感じたことはありますか？

第2パート 展開部

- 日本の仕事
 - 繊細・丁寧・緻密・簡潔
 - これらをいにする価値観＝美意識
 - 一般の人々の意識レベル
 - 社会全体で共有

第2パート 展開部

- 海外の仕事
 - 丁寧にやろうという意識が希薄
 - 「個の尊厳」を重要視

第3パート 論拠部

- 日本は天然資源に乏しい
- 第二次大戦(太平洋戦争)へ突き進んだひとつの要因も、資源の乏しさ
- しかし、乏しかったからこそ**悲惨な衰退**を回避できた



至れり尽くせりの豊かさは、ハングリー精神や想像力を喪失させ国民国家の成長を阻む

- 天然資源をはぐくみ技術を洗練することができた

第2パート 展開部

- 筆者の主張「ものづくりに必要なのは、『美意識』という資源」
 - 作り手にも受け手にも共有される感受性
 - 美意識こそものづくりを継続していくための普段の資源しかし・・・
- 一般にはそう思われていない
- 資源＝物質的な資源

注釈

- * 1 「ホスピタリティ」: 客を親切にもたやすこと
- * 2 「モビリティ」: 移動性、動きやすさ。ここでは、人やものが空間を移動することを指す

第2パート 展開部

- 筆者の主張「ものづくりに必要なのは、『美意識』という資源」
- この資源があったからこそ、同一規格大量生産においてそれが発揮され、高度経済成長につながった。
- 「美意識」という資源(感覚資源)が、高度な生産技術をつくっていく。



第4パート 結論部

- 筆者の提案「世界に貢献できる点を感覚資源から見つめなおしてはどうか」
 - 生産において量より質を重視
 - 恵まれた自然に目を向け、サービスやホスピタリティにも美意識を向ける

第4パート 結論部

- ・ハイテクノロジーと感性を兼ね備えた国として、アジアにおける客観的な立ち位置からより極まった洗練を目指さなくてはならない。



世界は美意識で競い合ってこそ豊かになる！

本文を読み終わって

- ・日本の仕事に見られる「美意識」は、日本が持つとても重要な資源であるといえる。
- ・「美意識」という資源は高度な技術の発達に寄与し、日本の発展に貢献してきた。
- ・「美意識」という感覚資源は石油や鉄鉱といった天然資源とは異なり、買うことはできないし売ることもできない。
- ・日本は感覚資源という点から世界に貢献できる点を見つめなおしてはどうか。
- ・世界は「美意識」で競い合ってこそ豊かになる

文章の接続

- ・接続詞：文と文をつなぎ、続く文の方向性を示す
 - ・順接（だから、そこで、すると etc...）：前文の内容が原因、あとに続く文がその結果であることを示す
 - ・逆説（しかし、でも、ところが etc...）：前文の内容から予想される結果とは相反する内容を示す
 - ・並列（また、および、かつ etc...）：前文の内容と同じ内容をつけくわえる
 - ・説明（なぜなら）：前文の内容を後文が説明する
 - ・対比（一方、対して、反面 etc...）：前文の内容と相反する内容を述べる